

コロナウイルスとインフルエンザの違いって何？



これからインフルエンザの流行期（例年12月～3月）によいよさしかかってくる。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念される中、どちらも発熱、咳、だるさ、頭痛を呈し症状が似ています。みなさんもこのような症状が出ると「新型コロナウイルスかインフルエンザ、どちらなのか？」と不安になる方もおられると思います。今回はその2つの特徴や違いを知ること、この冬の感染症の備えをしていきましょう。

「一般社団法人日本感染症学会提言 今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて」を基に作成

症状が出るまでの期間は？

新型コロナウイルス

1～14日
(平均5.6日)

インフルエンザ

1～2日

新型コロナウイルスのほうが、症状が出るまでの期間が長い傾向にある。

無症状感染の割合はどのくらい？

新型コロナウイルス

数%～60%

インフルエンザ

10%

新型コロナウイルスは無症状感染者でもウイルス量が多く、感染力が強い。

ウイルス排出のピークは？

新型コロナウイルス

発病日



発病

インフルエンザ

発病後2, 3日後

(時間の経過)

死亡者の割合はどのくらい？

新型コロナウイルス

3～4%

インフルエンザ

0.1%以下

新型コロナウイルスのほうが死亡割合が高い。

予防方法は同じ？

新型コロナウイルスとインフルエンザ、どちらもウイルスであること、エンベロープという脂肪の膜を持っていることから感染予防対策は基本的に同じです。

ただ大きく違うのが、**ワクチンの有無**です。インフルエンザにはワクチンがあります。インフルエンザの発症の可能性を減らすだけでなく、発症後に重症化することを防ぎます。

また、インフルエンザワクチンを接種することで、新型コロナウイルスと同時に発症する可能性も低くすることができます。クリニックフォアグループHPを基に作成



発行元：熊本市高齢者支援センター
ささえりあ三和
熊本市西区城山代4丁目10-16B
☎096-329-6743
<http://sanwaso.jp>

☆次号は2月頃の発行予定です☆